

1. 科目名 (単位数)	重複障害・LD 等教育総論 (2 単位)		3. 科目番号	SSMP3454
2. 授業担当教員	柳本 雄次			SCMP3454
4. 授業形態	講義だけでなく様々な形態のグループ討議など、アクティブラーニングに基づいた履修者同士の実践的な学び合いを重視する。※可能であれば当事者または保護者による講話の機会を設ける。また重複障害については補講期間に関連施設の見学会なども予定している。		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	2012 年の調査で改めて発達障害傾向の児童生徒が全体の 6.5%存在する、と明らかになった。その存在が年々クローズアップされる発達障害児だが、普通教育においては理解がなかなか進まない。また特別支援学校にもこの傾向がある児童生徒が増えつつあり、学校の枠を超えて発達障害児への対応が重視されている。発達障害に関わる基礎知識から指導技術までを網羅し、学校現場で彼らをどう支援し、その特性を伸ばしていくか、について実際のケースに触れながら具体的に指導していく。また障害の重度化・多様化が進む中で様々な障害を併せ持つ児童生徒も急増している。併せて重複障害についても説明していきたい。またスライドや画像、動画、独自の資料を多用し、グループディスカッションも活用する。本講座では、重度・重複障害、LD 等発達障害の特性を学び、個に応じた発達支援が行える指導実践力を兼ね備えた教員をめざす。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害、重複障害について理解し、簡潔に述べることができる。 2. 学習障害 (LD) の特徴および支援のあり方を理解し、説明することができる。 3. 注意欠陥多動性障害 (ADHD) の特徴および支援のあり方を理解し、説明することができる。 4. 高機能自閉症、アスペルガー障害の特徴および支援のあり方を理解し、説明することができる。 5. 発達障害のある児童生徒へのコミュニケーション支援のあり方を学ぶ。 6. 発達障害のある児童生徒に対する教育の特質について理解し、説明することができる。 7. 特別支援学校現場における重度・重複障害児への対応について理解し、説明することができる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	【アサインメント】 毎回テーマに関連した事前・事後学習の結果を記述したノートを作成すること。 【レポート課題】 ①発達障害に関する特徴と支援について、②重度・重複障害児の実態と教育支援について			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 柳本雄次・河合康編著『特別支援教育(第3版) 一人ひとりの教育的ニーズに応じて』福村出版、2019。 【参考書】 姉崎弘『特別支援学校における重度・重複障害児の教育』大学教育出版、2007。 坂口しおり『コミュニケーション支援の世界』ジアース教育新社、2014。 サリバン著・榎恭子訳『ヘレン・ケラーはどう教育されたかーサリバン先生の記録ー』明治図書、2014(改版)。 授業は資料配付・DVD 等を使用する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害、重複障害に関する特性を理解し、支援の在り方を説明できるか。 2. 発達障害、重複障害児に対する指導実践力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への積極的参加 (総合点の 30%) 2 日常の学習状況 (総合点の 40%) 3 課題レポート (総合点の 30%) 			
12. 受講生へのメッセージ	発達障害については教育界だけではなく社会的にも関心を集め、その支援の必要性が課されています。しかし、その障害の様態はきわめて多様かつ複雑なため、支援には基礎を踏まえた個別化が不可欠です。本授業では、毎回事前学習と事後学習の結果を記述したノート作成を課題とします。積極的な発表や討議による授業参加を期待します。			
13. オフィスアワー	授業内で周知する			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション 発達障害とは—その定義、法制度、課題等—	事前学習	発達障害に関する知識・経験をまとめる。	
		事後学習	配付資料を基に定義等を確認し、理解を深める。	
第 2 回	特別支援教育の展開と発達障害	事前学習	教科書の 1 章を読む。	
		事後学習	特別支援教育における発達障害の位置を理解する。	
第 3 回	発達障害への医学的アプローチ —脳科学の知見と治療—	事前学習	教科書の 6 章を読む。	
		事後学習	医学的アプローチの知見を理解する。	
第 4 回	発達障害への心理学的アプローチ —アセスメントと支援方略—	事前学習	配付の心理学的資料を読む。	
		事後学習	心理学的研究の知見を理解する。	
第 5 回	学習障害 LD の特徴と教育的支援	事前学習	教科書の 9 章を読む。	
		事後学習	学習障害の特徴と支援を理解する。	

第6回	注意欠如多動性障害 ADHD の特徴と教育的支援	事前学習	教科書の10章を読む。
		事後学習	注意欠如多動性障害の特徴と支援を理解する。
第7回	自閉症スペクトラム障害 ASD の特徴と教育的支援	事前学習	教科書の11章を読む。
		事後学習	自閉症スペクトラム障害の特徴と支援を理解する。
第8回	コミュニケーションの発達・障害とその支援 —人間関係の形成—	事前学習	教科書の15章を読む。
		事後学習	コミュニケーションの発達特性と支援を理解する。
第9回	発達障害の児童生徒の保護者への対応	事前学習	発達障害児の保護者に関する配付資料を読む。
		事後学習	保護者の状態とその対応を理解する。
第10回	通常学校における発達障害の児童生徒への教育的対応 —外部専門家との連携協働—	事前学習	学校での発達障害児の知識・経験をまとめる。
		事後学習	配付資料を基に教育的対応を理解する。
第11回	重複障害児／重度・重複障害児とは —その定義、法制度、課題等—	事前学習	重複障害に関する知識・経験をまとめる。
		事後学習	単一障害と重複障害との差異について整理する。
第12回	視覚・聴覚重複障害児の教育 —ヘレン・ケラーとサリバンから学ぶ—	事前学習	ヘレン・ケラーについて調べる。
		事後学習	DVD 視聴に基づき教育のあり方を考える。
第13回	重度・重複障害児の福祉的アプローチ —DVD「夜明け前の子どもたち」から考える—	事前学習	旧重症心身障害児施設について調べる。
		事後学習	施設の現状と課題を考える。
第14回	重度・重複障害児の教育的アプローチ	事前学習	配付資料を読み、教育の意義をまとめる。
		事後学習	教育の現状と課題を考え、理解する。
第15回	重度・重複障害児の保護者への対応	事前学習	配付資料を読む。
		事後学習	保護者への対応を考える。